



受付第04A1383号
受付日：平成16年 8月19日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成16年 9月30日

財団法人 建材試験センター
中央試験所長 勝野中幸
埼玉県草加市稲荷5丁目2番20号



試験名称	木造建築用接合金物を使用した接合部の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 カ ナ イ 所在地：埼玉県八潮市西袋717番1号
試験体 (依頼者 提出資料)	1. 接合金物 名称：木造建築用柱仕口金物 商品名：タイシンコーナー 用途：柱の仕口に使用する金物（中柱型） 寸法：厚さ3.2mmの鋼板を折り曲げ加工したもの (120×40×43.2mm, 図-3参照) 材質：SGHC Z27 (JIS G 3302) 2. 接合具 木ねじ：3#角ビット皿スクリュー φ5.5×45, 柱側6本, 横架材側6本使用 呼び長さ；45mm, ねじ部の長さ；39mm, ねじ部の外径；5.45mm, 谷の径；3.35mm, ねじ山のピッチ；3.15mm, ねじ先の形状；とがり先 材質；SWRCH22A (JIS G 3507) 相当品であり, 下記の化学成分を満足する。 C (0.18~0.23%), Si (0.10%以下), Mn (0.70~1.00%) P (0.030%以下), S (0.035%以下), Al (0.02%以上) 表面处理；ダクロタイズド処理 3. 使用軸組 柱：樹種；すぎ, 寸法；105×105mm, 横架材：樹種；すぎ, 寸法；105×105mm 4. 試験体数 7体 (うち1体は予備試験体) 参照：図-1~図-3 (試験体の形状・寸法)
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計 (監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室, 企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター) の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	短期基準引張耐力 (Pot) : 8.5 kN 耐力算定基礎資料：表-2 荷重-変位曲線：図-4及び図-5 破壊状況：写真-1~写真-6
備考	当該試験結果は, 平成12年建設省告示第1460号表三 (ほ) に定める 羽子板ボルトφ12mmに長さ50mm径4.5mmのスクリューくぎ (必要耐力8.5 kN) に該当する。
試験期間	平成16年 8月31日
担当者	構造グループ 試験監督者 橋本敏男 試験責任者 高橋大祐 試験実施者 守屋嘉晃
試験場所	中央試験所